

## 令和3年第1回定例会一般質問順序表

3月11日～12日

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
1	6	北市勲	1 市政執行方針について	1 赤平市の将来像について  2 移住・定住の政策について  3 商工業の振興について	<p>1 赤平市の将来像を「ひと・自然・産業が輝く協働と共創のまち赤平」と表現されておりますが、大変抽象的で想像が出来かねております。どの様な姿を想定しているのか具体的に説明を伺う。</p> <p>2 市民・事業者・行政が協力し課題解決に向けた活動を行なう協働を推進するとのことですが市民・事業者・行政との協働の為に市長の果たす役割とはどのように考えているのか伺う。</p> <p>1 公的住宅については適正管理のもと従来の事業を継続されるとのことです、民間住宅に関して「あんしん住宅助成事業」の増額は評価しますが長期的視点で最も有効と思われる「持ち家建設助成事業」政策が見えないのは何故ないのか説明を伺う。</p> <p>1 市民最大要望は商業の振興でありますが商業振興支援の内容は従来の継続のみで新しい施策は皆無であり市民の要望に沿っているとは思われませんが、市長の考えを伺う。</p> <p>2 工業の振興についても従来の支援の枠を超えるものではなく、更に新しい企業誘致の対策も無く大変残念に思っております。この様な状態が続けば市政運営にも悪い影響が出るのではと案じておりますが市長の考えを伺う。</p>	

順序	議席番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	備 考
1	6	北市勲		4 観光の振興について	1 赤平にある観光施設「日本一のズリ山階段」や「エルム高原」を市内外の方々に利用促進のために、それぞれの魅力をPRするとのことですが、PRの内容よっては効果があるかもしれません。PRの内容をお聞かせいただきたい。特に「エルム高原」の観光振興には施設管理者の努力が求められますが設置者としての、指導について伺う。	
				5 健全な行財政の運営について	1 事務作業効率化を目指しとありますが現在、赤平市の広域行政事務事業は「教育」「市町村圏」「下水道」「衛生施設」「廃棄物処理」「消防」の6事業あるが将来的には人口減少により「水道事業」「病院事業」も単独で維持出来なくなる可能性がありますが、広域事業についてどの様に考えているか伺う。	
			2 教育行政執行方針について	1 キャリア教育の充実について	1 キャリア教育とは小学校入学から高等学校卒業までの期間、学校で学んだことを記録し自分自身が振り返ることが出来るファイルの取組であると理解していますが、記録の内容は学業成績のほか何を記録するのか。更に、ファイルはどの様な効果が得られるのか、また従来の学業成績表との違いについて説明を伺う。	
				2 社会教育の推進について	1 炭鉱遺産ガイダンス施設を拠点に炭鉱遺産に関連した企画展を開催し、北海道及び関係市町村・ツアーハイアなどと連携を行い炭鉱遺産の魅力を発信するとの大変意欲的な方針と評価しています。関連した企画展は何回程開催予定なのか。また、これらの企画で来館されるお客様を市内に誘導する計画は考えておられるのか伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
2	8	伊藤新一	1 市政執行方針について	1 学童保育事業の整備について	1 全ての子どもが、多様な体験ができるよう赤平市独自の放課後子ども教室を開設するにあたり、具体的にどのようにしていくのかまた、一部の新聞報道の通りと考えていいのか伺う。	
				2 公共交通について	1 地域公共交通のあり方等について、検討を重ね令和3年度中に赤平市地域公共交通計画を策定していくとの事であるが、実証運行などは実施可能か伺う。  2 鉄路の維持・存続については根室本線対策協議会において引き続き検討して参りますとの事だが、令和3年度以降について負担金は発生するのか。また赤平市において鉄路維持のために具体的な検討はされているのか伺う。	
				3 スーパープレミアム付商品券について	1 消費喚起策の一つとして、コロナ対策を取りながらスーパープレミアム付商品券を継続していくとの事だが、販売方法、一世帯に対しての販売セット数などに考えているのかを伺う。	
				4 魅力あるイベントの推進について	1 50周年の節目を迎えるあかびら火まつりについて、感染防止対策を徹底し支援するとの事だが、具体的にどのような支援を考えているのか伺う。	
			2 教育行政執行方針について	1 不登校傾向の児童生徒への対応について	1 赤平市において、別室登校児童生徒への支援のあり方及びその人材確保に向け検討していくとの事だがどのように進めていくのか伺う。	

順序	議席番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	備 考
3	5	五十嵐美知	1 市政執行方針について	1 健康づくりの推進について 2 子育て支援の充実について 3 移住定住の促進について 4 公共交通の確保について	1 市民一人ひとりが健康に关心を持ち、健康づくりに取り組んでいけるよう「第2次赤平市健康増進計画」に基づき取り組んでいくとされているが、日常的に歩数に意識できる取り組みが必要と思うが、考えを伺う。 1 学童保育事業の整備として、令和4年4月に開設する統合小学校において、赤平市独自の放課後子ども教室と学童保育事業の整備を行うとされているが、その取り組みの具体的な内容について伺う。 1 あんしん住宅助成事業については、住宅改修費用等の助成額を増額していくとされているが、その取り組みの具体的な内容を伺う。 1 令和3年度中に「赤平市地域公共交通計画」を策定していくとされているが運用までに時間がかかるが、現在、運転免許証を返納すべきか足の確保などに悩まれている高齢者に高齢者福祉の観点から、救いの手を差しのべる施策を考えるべきと思うが伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
3	5	五十嵐美知		5 工業の振興について	1 新型コロナウイルス感染症拡大により、当市の産業とまちの経済に大きな影響を受けており、製造業への影響は深刻化している中、方針では国や道の支援策も踏まえ今後の工業振興への対策を進めるとしているが、その取り組み内容の考えについて伺う。	
				6 広報・広聴の推進について	1 赤平版世論調査となるアンケートを継続して実施していくとされているが、新年度においての目的はいかにあるか伺う。	
				7 健全な行財政の運営について	1 赤平市公共施設等総合管理計画に基づき各公共施設の管理・運営に努めるとされているが統合小学校の開校を目前にしている中において、閉校する三校は遊休施設になり、今後の総合管理計画の在り方が問われると思うが考えを伺う。	
			2 教育行政執行方針について	1 特別支援教育について	1 小学校で通級指導教室が設置されているが中学校への継続が望まれている中で、開設に向け検討を継続していくと示されているがスピード感をもって取り組むべきと思うが考えを伺う。	
				2 文化財保護について	1 炭鉱遺産ガイダンス施設が、開設されて本年2月末時点で25,000人を超える来館者数であり、当市の炭鉱遺産の魅力を伝えております。本年に炭鉱の文字や茂尻炭礦展が開催されたが、炭鉱展については今後も同様な取り組みを考えるか伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
4	3	木村 恵	1 市政執行方針について	1 コロナ対策について 2 介護・福祉等について	<p>1 昨年のコロナ対策については執行方針にあるように経済対策、生活支援、感染防止対策などバランスよく、そして切れ目なく行われたと思う。次年度に向けても今定例会初日の補正予算で事業継続支援や感染拡大防止の施策を計上し繰越明許として備えていることも十分評価されると思う。今後ワクチン接種がはじまるが、スケジュールはいまだ明確ではなく、変異株への効果など未知数の部分もあり、いつ収束するかわからない状況だ。医療ひっ迫やクラスターの発生を回避するためにも、医療機関や高齢者施設への社会的検査が必要ではないかと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>1 高齢者支援の充実において、介護予防や閉じこもり予防、認知症予防について対策が述べられている。コロナ禍で高齢者の運動教室や食事会などは感染予防対策を行なながらでも不安があるとして以前のように取り組めていない。令和元年9月議会において加齢性難聴者への補聴器購入助成について質問した際、単独事業となることから税制負担等も伴うので慎重に検討していくと答弁されていた。引きこもりがちになるコロナ禍において認知症予防の観点からの補聴器購入助成が必要になってきたのではないか、市長の見解を伺う。</p>	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
4	3	木村 恵			<p>2 障がい者支援の充実について手話の普及啓発が述べられている。環境整備と遠隔手話サービスについて、継続していくとあるが、通訳者の養成については述べられていない。赤平市では令和元年度から赤平手話の会運営補助金で手話通訳者養成講座受講にも利用できるよう通訳者養成の支援にも取り組んでいる。手話通訳の現状と環境や待遇についてどのような認識か伺う。</p> <p>3 地域福祉の充実として除雪費助成事業について述べられている。この冬から生活保護世帯にも対象を拡大したが、利用状況はどうだったのか。利用状況を踏まえたうえで、令和3年度も同じ枠組で取り組んでいくのか確認したい。また、このコロナ禍によって生活保護申請は多くなっていないということは、昨年の9月議会で確認したが現状はどうなっているのかも、合わせて伺う。</p>	
				3 商工業振興について、観光について	<p>1 工業の振興について新型コロナウイルス感染症拡大による影響、特に観光産業や製造業への影響が深刻化しているとして対策を進めると述べられている。ここで述べられている雇用確保対策や生産活動支援については、理解するが昨年の9月議会で私は対症療法的な支援金ばかりでなく、事業継続と雇用の確保が出来るような原因療法的な支援策をしっかりと検討してほしいと要望した。この部分について執行方針ではチャレンジ・アレンジ産業振興奨励金の継続しか述べられてなく、不十分さがあると感じるが認識を伺う。</p>	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
4	3	木村 恵			<p>2 商業の振興についてイベント等の中止により商店街の現状は非常に厳しいと述べられている。飲食業等の支援については基礎自治体としては素早くそして積極的に行なっていることは評価されるが、令和3年度のイベントについても実施できるかどうかは予断を許さない状況だと思う。イベントが中止になった場合の影響について即応的に何か対策を行っていく考えなどがあるのか伺う。</p> <p>3 観光PR活動の充実について、情報発信基地AKABIRABASEが、7年目を迎える、来場者も年々増えており、野菜販売も定着してきたということが、述べられている。また、仏花やホットトレッギなど多くの方に好評だということで積極的に進めていくという印象を受けた。昨年の執行方針では商品の内容、農業者の関わり、店舗運営方法など、将来的な方向性を検討していくと締めくくられており、私もたびたびこのことについては質問してきたが、この度の執行方針では明確な店舗運営方法や将来的な方向性についての言及がない。これらの部分の検討結果は、どうなっているのかまた、市長の考えはどうなのか合わせて伺う。</p>	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
4	3	木村 恵			<p>4 広域的観光ルートの推進について、今年度の執行方針とほぼ同様の内容で、日本遺産に認定された炭鉄港においては炭鉄港推進協議会を中心に連携し、地域資源の有効活用を図り、広域的観光ルートの創出に取り組んでいくと述べられている。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大により質問時間の多くを費やしていたため、立坑櫓の保存という課題や炭鉱遺産公園整備に関する質問は行っていなかったが、令和元年度の12月議会で市長の認識を伺っている。その際の市長答弁は「公園整備による多額な費用をかけるということは難しいと考えている」また「財政状況有利な財源ということは考慮するが交付金ありきではない」といったことだった。今も市長の考え方には変わりはないのか伺う。</p>	
				4 ふれあいと交流を創る協働のまちについて	<p>1 市民とともに協働のまちづくりを進めていくためにはより多くの市民の声を聞くことは不可欠だとして、市民アンケートの継続をしていくことそして意見要望を的確に把握し広報することで情報の共有化を図っていくことが述べられている。広聴の部分の考え方は理解できるが広報の部分については、情報共有だけではなく意見・要望から施策への具現化、つまり結果が求められてくると思う。例えば商業振興、公共交通は満足度が下がり重要課題となっている。公共交通については前進がみられるが商業振興はどうなるのかといったように市民は自分たちの満足度を知りたいのではなくどのように改善されるかという事に期待しているのではないか。任期4年間でどれだけ応えられるかは市長への評価そのものになってくると考えられるが市長の見解を伺う。</p>	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
4	3	木村 恵	2 教育行政執行方針について	1 学校教育の推進について	<p>1 学びの充実について学習意欲が欠かせないということから、漢字検定及び英語検定への支援は希望制を中心に据えて拡充するとともに、授業以外の学習機会を増やす公設塾を継続し、やる気のある子どもたちを支えていくと述べられている。私は昨年の3月議会で漢検、英検について取り上げ悉皆式に行われている事について指摘した。希望制の支援というのは向上心を高まっていることだが、検定そのものがプレッシャーになる児童生徒をどう支えていくかという点においてこの言い回しは誤解を生むように感じる。その点についての考えを伺う。</p> <p>2 信頼される学校づくりと地域連携の充実について、コミュニティ・スクールのことが述べられている。地域住民のできることを資料として整理し、人材バンクとしての整備を進め、学校からの支援要請にこたえる流れを整えていくとあるが、具体的に地域住民のできることとは、どのようなことで、学校からの支援要請にこたえる流れを整えるとはどういったことを指すのか伺う。</p>	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
5	4	鈴木明広	1 市政執行方針について	1 健康づくりの推進について	<p>1 「第2次赤平市健康増進計画」に基づき喫煙対策等に取組むとありますが、道内の男女計喫煙率は、ここ数年来全国一であり2019年も22.6%と全国一である。煙草の煙の約200種類以上が毒物、約60種類は発がん性物質であり、国立がん研究センターは科学的根拠に基づき、禁煙等の予防法を掲げている。当市における喫煙対策の在り方と成果について伺う。</p> <p>2 生活習慣病の主たる原因の一つは喫煙である。喫煙は煙草を吸わない人が煙を吸ってしまう副流煙や体や衣類に付着した残留物や臭いにさらされる三次喫煙（サードハンドスマーカー）が問題となる。美唄市は5年前道内初の受動喫煙防止条例を作り予防医療に効果を上げている。当市もこれに倣い受動喫煙防止条例を作るべきであると思うが、見解を伺う。</p>	
				2 防災体制の拡充について	<p>1 災害時に必要な備蓄資材を隨時見直すとありますが、その中の災害用トイレについて平成30年赤平市の避難所の指定状況に関する都道府県への通知様式を基準にし、当市の指定避難所23か所に必要とされるトイレ数を試算すると発災時で60台、その後長期化が想定される場合は108と試算されるが、現時点で赤平市が確保している仮設トイレ、簡易トイレ、携帯トイレ等のいわゆる「災害用トイレ」の台数について伺う。</p>	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
5	4	鈴木明広		2 障害者や高齢者などの要配慮者が、災害時に安心して利用できる避難所のトイレの選択肢の一つとして、マンホールトイレ設置を積極的に推進していくべきだと思うが考えを伺う。		
				3 計画的な除排雪対策について	1 計画的な除排雪に努めるとあるが、富良野市が「IoT除排雪効率化実証実験」におけるデータ分析基盤に「Oracle Autonomous Data Warehouse」と「Oracle Analytics Cloud」を導入した。市民にとって住みやすい環境を実現する、スマートシティ構築のために当市もIoT除排雪効率化実証実験に取り組むべきであると思うが考えを伺う。	
				4 すべての子どもが多様な体験ができるよう赤平市独自の放課後子ども教室の開設について	1 留守家庭の児童を預かる学童保育事業の整備を行っていくとあるが、ゲームそのものを否定するわけではないが、学童保育においてはゲームソフトによらない創造的な集団ゲーム等を楽しむことによって年齢の異なる子供たちの社会的な協調性を養う機会をできる限り多く提供する場であるべきであると考えるが、当市における学童保育の場へのゲーム機器持ち込みに対するガイドラインについて伺う。	
				5 健全な行財政の運営について	1 行財政改革のためにRPA導入はroutine work（ルーチンワーク）定型的業務や、作業、型どおりの仕事を自動化して事務時間の削減が大いに期待できるので急務であると考えられる。当市はその実証実験を行ったとあるが、その具体的な内容と結果検証と今後のRPA拡充方針について伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
5	4	鈴木明広	2 教育行政執行方針について	1 将来に生きて働く学びの充実における公設塾の役割について	1 2018年9月に開設された当市の公設塾は3年目を迎える。その教育成果の検証と今後の拡充策について伺う。	